
一つの影

ふわふわわたあめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一つの影

【Zコード】

N1111M

【作者名】

ふわふわわたあめ

【あらすじ】

人見知りが激しく、あることが大の苦手な”柚”。ある日柚の人生を一変させる出来事がおきた。それは”裕也”との出会いからだつた。

プロローグ

恋愛。

自分の全てを受け入れてくれる。

全てを愛してくれる。

自分だけを見てくれる。

恋愛には人それぞれだけど、恋愛って結局なんなんだろ?って思つた。

そんなあたしの考えだけど…恋愛って友情と同じようなものだと思う。

ただ普通に話してるだけ。

キスだつて頑張れば友達とだつてできる。

普通はやらないうって斷言つだらうけど、もう思ひつけどからただこの世界がキスを特別にしてるだけだとわかる。

経験なんてしたことない。

だけど恋人を見るだけでなんとなくわかつてる氣がしてた。

なんで恋人なんてつくるんだろ？
つまらないもので、すぐ終わってしまう。

お互いが傷ついていくなんて馬鹿馬鹿しい。

興味が無かつたと言えば嘘になる。

恋をしている人を見ると、ちょっとだけ羨ましいと思つた時期もあつた。

でも自分は一生、恋愛なんてしないんだろ？

…なんとなく恋に冷めてたんだ。

…でも、そのときは気づいてなかつたんだ。
恋がこんなにあたしを幸せにしてくれるなんて。

馬鹿にしてたのが馬鹿みたいに思い知られる事になる。

でも、それは馬鹿みたいに突っ走ったあたしの精一杯の恋だったんだ。

今、一つの影が恋に動かされた。

今日は入学式

中学の頃とは違ひ可愛い制服に身をつつみ
並木柚の気分はウキウキ……のはずだったのに……

「あー、入学早々遅刻かー。」

登校時間まであと7分

信号の馬鹿やうーーー！！！！

と叫びたくなる気持ちを抑えつつも苛立ちを隠せない

カタカナ

入学早々遅刻決定！

うん 悲しそう

なんでここの信号は青になるまでが長いのあー！？

うん 虚しそぎる

はめ

心の中で独り言を繰り広げていたとき

「入学早々遅刻疑惑とかアホか。俺の自転車に乗せてやる。」

それがあいつとあたしの出逢いだった

ただ

「……

人見知りなあたし
そしてそんなあたしは

男と話すことが大の苦手

「…おい、聞いてんのか？送る。」

「あ…いや……」

その男は呆れた顔をして私の両脇を掴んだ

「話しになんねエ。…ツほりよつとー…後2分か、余裕だな。」

ひいいいい！…！…！

触られたああ…！…！

掴まれたああ…！…！

これから私どうなるんだろう

これって誘拐だよね？ねえ？

お母さん、今までありがとう

柚はお母さんの先に逝かなければならぬみたいで

「お前1年だろ？俺は2年だから先輩だな。」

パニック状態をおこした私には男の声なんか全く聞こえてなかつた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1111m/>

一つの影

2010年10月17日06時58分発行